

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リバーサポートセンター		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別指導によって子どもが安心してすごせる環境がととのっている。	多くの職員を配置している。定期的に保護者の要望や職員の間での意見交換の場を設け個別指導に合った支援計画を組んでいる。	利用者がさらに楽しく通所出来るよう、安全チェックや整理整頓などを通して教室内の衛生面にも気を配る。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルの所在や訓練の有無について周知の不十分	利用開始時の説明における周知	利用開始時に事業所で行っている取り組みについての説明 面談時に新しい取り組みについての周知
2			
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 リバーサポートセンター

公表日 2025年3月1日

利用児童数 40人

回収数 24

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20			4		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	4		7	マンツーマンなのが良い。	個別支援のため人員や指導可能教科は多く配置出来ている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2	1	11		教室が二階のため、階段の部分のみバリアフリー不可能。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			4		毎日の掃除と机椅子等のアルコール消毒を徹底している。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2		2	理解はしてくれていると思うが専門性のある支援かはわからない。	個々の特性に配慮し、保護者との相談の場を持ったうえで支援の内容を決めている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	3				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					年二回の事業所内相談、事業所内での会議など行ったうえで計画書を作成している。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2		2		進学や転校にあわせて、学校や家庭と話し合いの場を持って支援の方針を決めている。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	5		4		個々の進度に合わせてたり、検定対策、PG、タイピングも取り入れている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8		6	10		時間帯が同じ子同士会話する事はあるが、機会は少ない。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1				利用契約の際に説明している。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	3			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	7	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	4		2		毎回の記録を連絡帳で共有し、定期的な事業所内相談、不定期な電話相談を行っている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3				定期的に事業所内相談を行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	4				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	7	15		個別支援を行っているため、現在父母の連携等は行っていない。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	1			苦情窓口を設けている。即日、または一両日中の解消を目標として実行している。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1				連絡帳や手紙を保護者に渡せない子どもに対し工夫して渡せるように支援している。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	5	4	4		活動内容は毎回の連絡帳や定期的な事業所内相談で報告している。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22				2		鍵付きの倉庫で保管している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1			2		委員会を設置し、定期的に訓練や職員ミーティングを行っている。マニュアルや記録は自由に閲覧できるようロビーに設置している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	1	11			事業所内のロビーにて各訓練の記録を閲覧できるようファイルを設置している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2			8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	3			7		事故や災害に対するマニュアルを作成し、自由に閲覧できるようロビーに設置している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	4			1	・その日の先生によって帰って来た時の反応が違うので楽しんでいるかはわからない。 ・ルーティーンに入っているのが嫌がってはいない。	個々の進度に合わせて支援している。自立支援の為さまざまな職員が支援に関わっている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1					

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		リバーサポートセンター				公表日	令和7年 3月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別指導の為に多くを配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		小学生には階段の上り下りに職員が付き添っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除、机等のアルコール消毒や整理整頓を心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要時は個別部屋を確保できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		事業所内のミーティングは毎日、全体的な会議は週に一度行われている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			頂いた意見を参考に改良に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングの中で意見交換をし、業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に一度の内部研修の他、外部研修にも積極的に参加している。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPで公開されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		半年に事業所内相談を行い、アセスメント及びモニタリングをおこなっており、それを元に支援計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		事業所内相談後に担当者会議をひらき、情報の共有や意見交換を行った上で支援内容を検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的にサービス提供者会議を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各児童に合ったテキスト選びや手作り冊子など、アイデアを出し合っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日のミーティングの中で子どもの変化や成長について話し合い、適切な指導法を話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	個別活動の支援なので集団活動計画の予定はなし。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に担当者を含めた職員で会議を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日のミーティングの中でおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日のミーティングの中でおこなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度事業所内相談をおこない、モニタリングにつなげ、支援計画書を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」などを主に組み合わせている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		その日やる宿題やテキストの順番など、選択に機会を設けている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者と担当者、ドライバーなど利用者の支援にかかわりがある者を集めて会議をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者からの希望に応じ、学校担任や校長、教頭と話し合う機会を設け、連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		現在行っていないが必要に応じて情報共有をする体制を整えている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現在行っていないが必要に応じて情報共有をする体制を整えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現在行っていないが必要に応じて情報共有をする体制を整えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		検定受検の時に機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		淀川区子ども支援部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の連絡帳や事業所内相談の実施、必要な時は電話連絡なども行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	送迎のある利用者に対しては事業所内相談でP.T支援を実施している。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		事業所内に運営規定を設置し、契約時に説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		事業所内相談、電話連絡などの機会を設けている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内相談、電話連絡などの機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		個別学習支援を行っており、保護者同士の連絡はおこなっていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情マニュアルを作成、苦情の窓口を設けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPを公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き倉庫で保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		検定試験は一般募集もしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		いつでも閲覧できるように事業所内に設置している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に防災訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬やてんかんに関しては事前に聞き取りをしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			軽飲食持参の利用者には注意する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画はいつでも閲覧できるように事業所内に設置している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画はいつでも閲覧できるように事業所内に設置している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員やアルバイトなど誰でも書ける位置に設置している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、半年に一度の会議と研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、支援計画書には身体拘束を行う場面等の記載をしている。		